

私のTOEIC学習 英文学科4年 K. M.

4年次：605 3年次＝：580 2年次：435 1年次：350

周囲の人と比べて時間がかかったとはいえ、スコアを伸ばすことが出来たのはなぜだろうか。私はこの問いに対して失敗しても懲りずに取り組んできたからだと考えています。しかしその一方で4年間の結果がこのようなスコアになってしまったということに、悔しさや情けなさを感じているのも事実です。今のこの状況を例えるならば、やっとスタートラインに立てたような感じでしょうか。私が1年生で初めてTOEICを受けたとき、聞こえてくる英語のスピードの速さや自分の知らない単語の多さに驚きました。そのため後日そのスコアシートを受け取ったとき、予想はしていたものの、自分のスコアの悪さにかなりショックを受けたのを覚えています。しかしそれはまた同時に、在学中にまず600点を取ろうという目標を決めるきっかけとなりました。1、2年生の時には、まずリスニング力を伸ばしたかったので、どうすればいいのかと考えた結果、映画を1本選びDVDの字幕を利用してDictationをすることにし、ただひたすら紙に書くという作業をしていました。またそれに加えてその映画の音声だけをCD-ROMに落としてもらい、部屋にいるときにそれを流したり、MDに入れて通学時など細切れの時間によく聞いたりしていました。3、4年生では、TOEICの試験形式に慣れることが大切だと思い、模擬試験の問題集を購入して時間配分や各パートでは何が問われているのかを念頭に置きながら解いていきました。この半年に公開とカレッジを含めて4回TOEICを受験していますが、スコアは580から600点の間を行ったり来たりです。毎回反省するのがReading Sectionで、この読解力と文法力の課題は自分でもよく分かっている、今感じている壁を越えるにはこの課題をクリアすることだと思っています。最後になりましたが、振り返ってみて1つだけ確実に言えるのではないかと思うことがあります。それは私が英語学習をする上で、宮城学院の英文学科はとてもよい環境だったということです。スコアが伸び悩んでいた時に励みになったのは、英文学科の図書室で授業以外にも積極的に英語を使って話している学生達や、ブリックで参考書を広げて黙々と勉強していた人の姿でした。このような姿勢にはまた、英語学習以外にも学ぶべきものがありました。色々と遠回りした部分もありましたが、これまで学んできたことをこれからの英語学習に活かすことで、次の目標としているスコアに向かってまた努力していきたいと思えます。